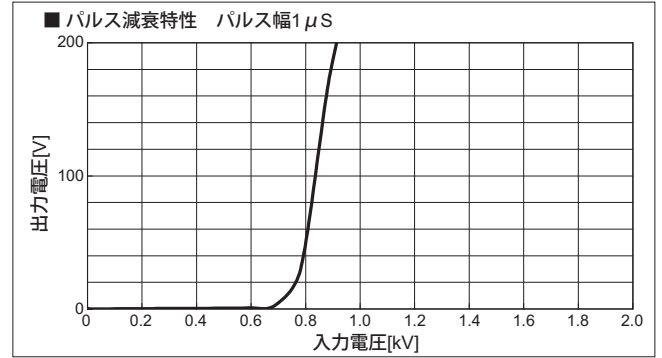
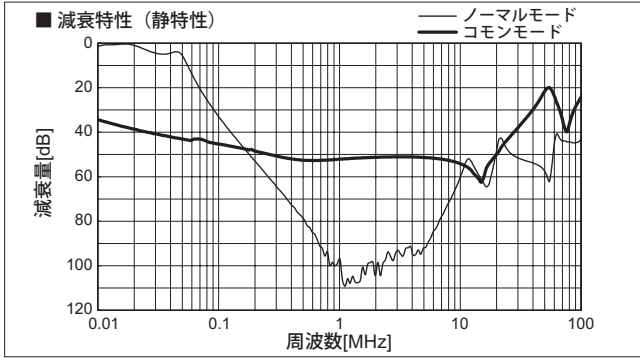
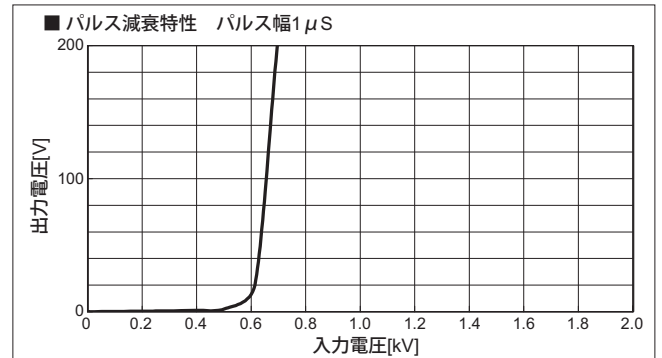
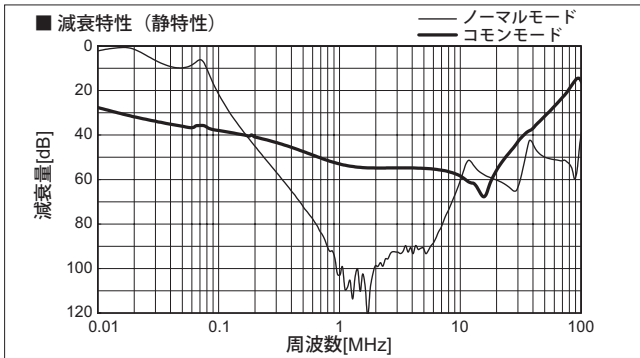


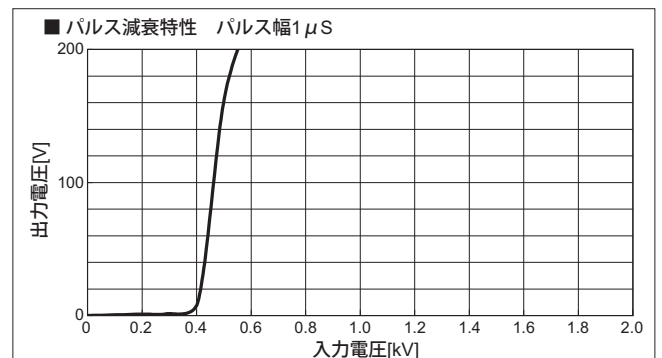
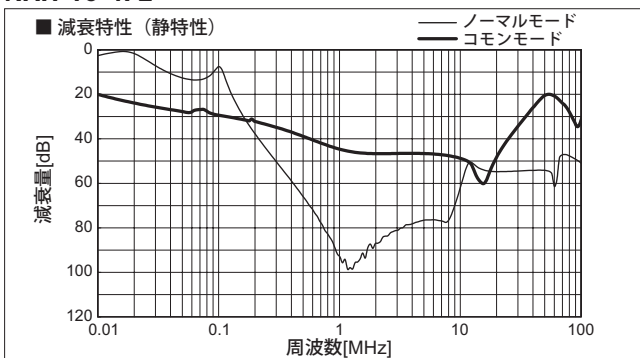
NAH-06-472



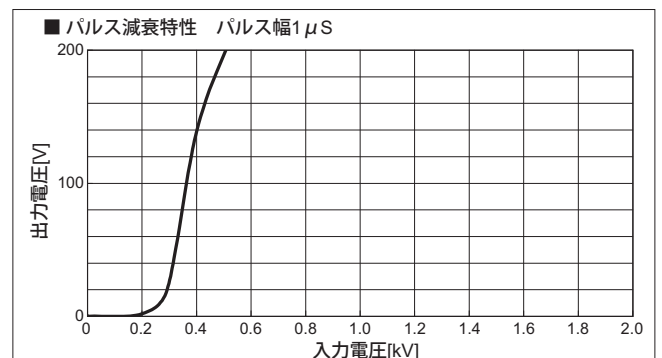
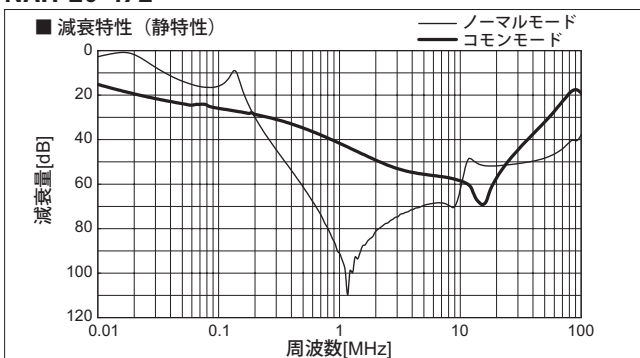
NAH-10-472



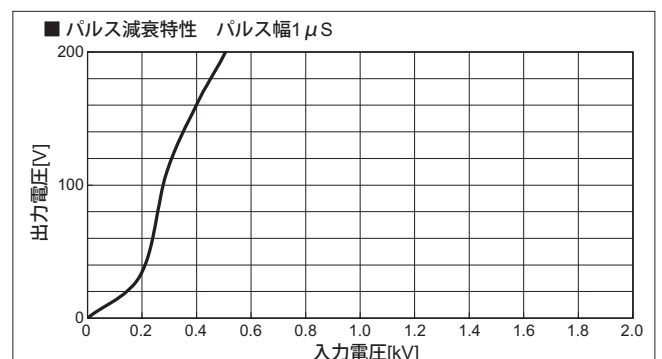
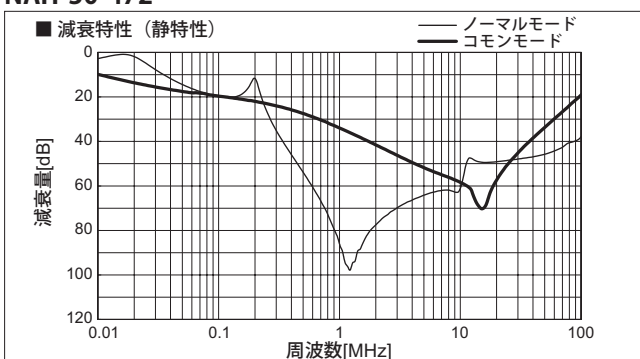
NAH-16-472



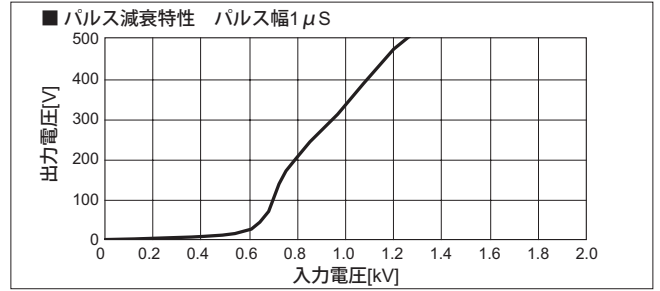
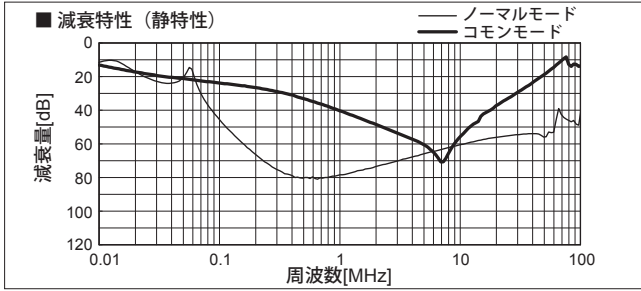
NAH-20-472



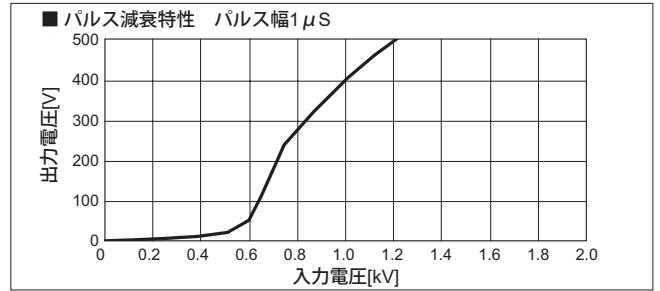
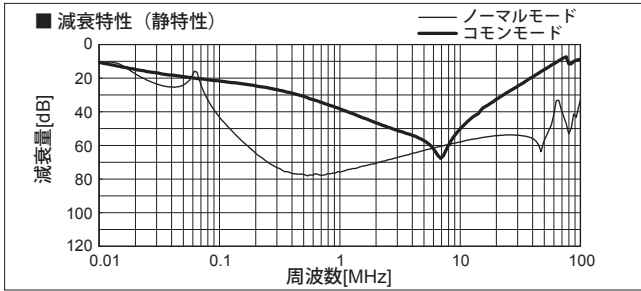
NAH-30-472



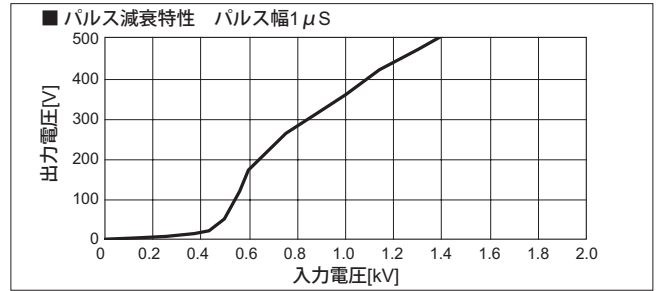
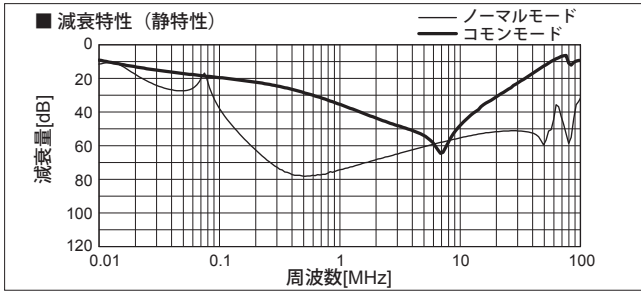
NAH-40-472



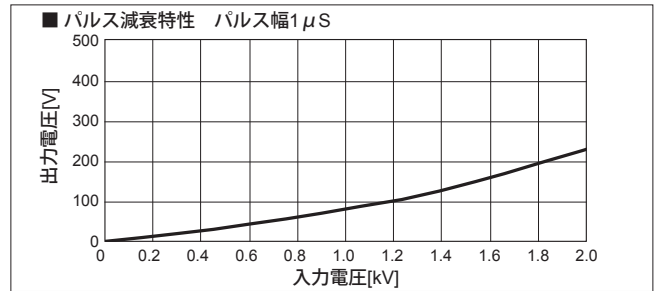
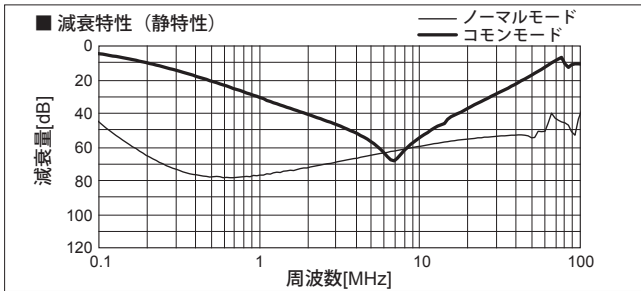
NAH-50-472



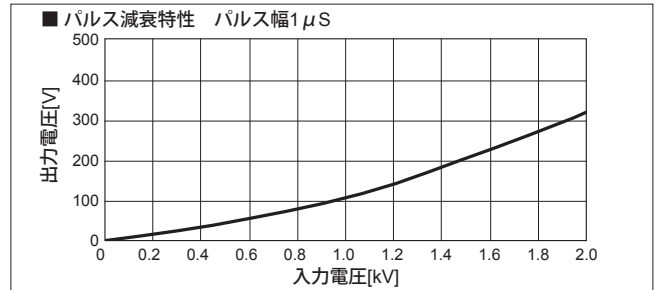
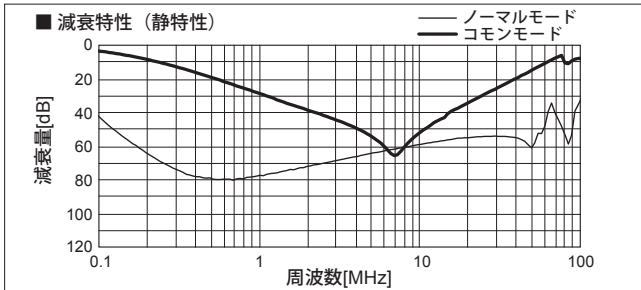
NAH-60-472



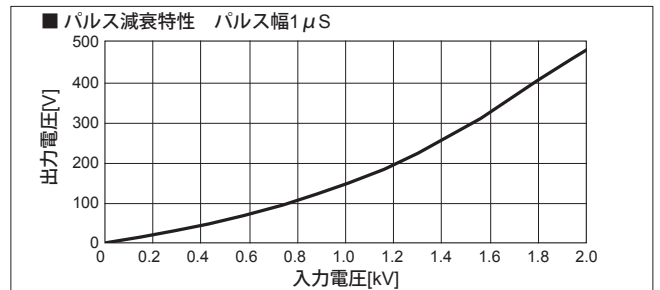
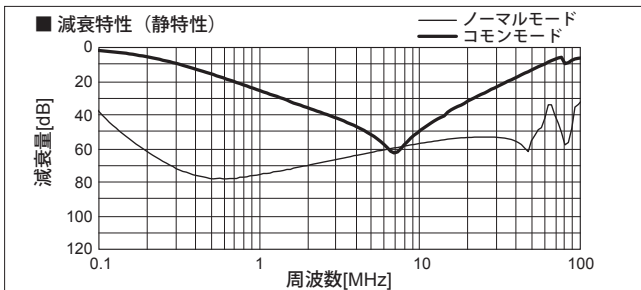
NAP-40-472



NAP-50-472

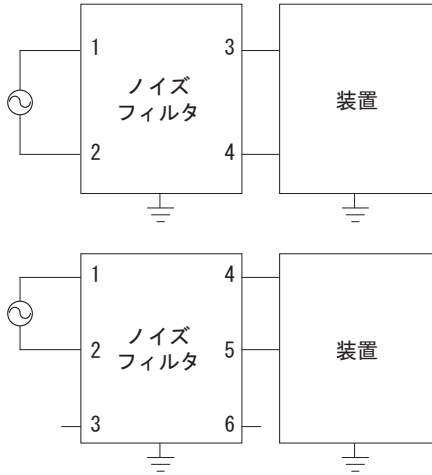


NAP-60-472



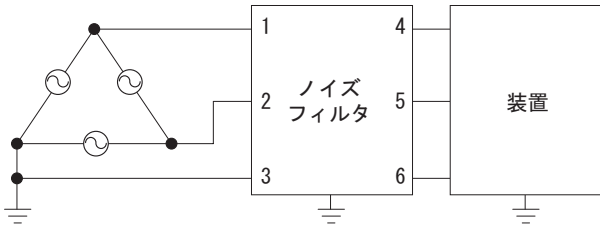
1 ノイズフィルタの接続方法

(1) 単相二線

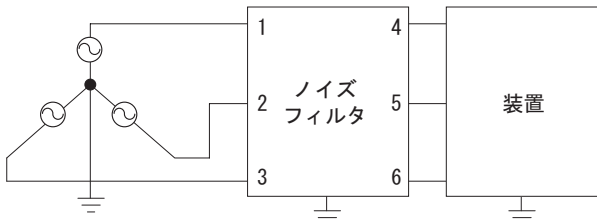


※三相ノイズフィルタは単相入力としても使用可能です。

(2) 三相三線一相接地電源（デルタ結線）



(3) 三相三線中性点接地電源（スター結線）



[参考] 入力電流算出計算例

入力電圧 400 [V] 装置入力容量 4000 [VA]

$$\text{入力電流} = \frac{4000 \text{ [VA]}}{400 \text{ [V]} \times \sqrt{3}} = 5.8 \text{ [A]}$$

2 接続の注意事項

ノイズフィルタが異常発熱を起こす原因となるため、以下の注意事項を遵守ください。判定が困難な場合には当社までご相談ください。

(1) 入力電圧

入力電圧は各モデルの定格電圧以内（又は使用最大）でご使用ください。

なお、AC電源用ノイズフィルタに接続される入力電圧波形は、商用周波数（50/60Hz）を想定しています。以下の条件の使用はできません。

- 1) 正弦波以外の三角波、矩形波など歪みの大きい入力電圧波形
- 2) 400Hzなど高い周波数の入力電圧波形

(2) 入力電流

入力電流は各モデルの定格電流以内でご使用ください。

なお、ノイズフィルタは短時間であれば定格電流より大きな負荷電流（ピーク電流）を流すことができます。一般的なスイッチング電源などの突入電流（～40A又は、定格電流の10倍、単発、数ms程度）については特に問題ありません。

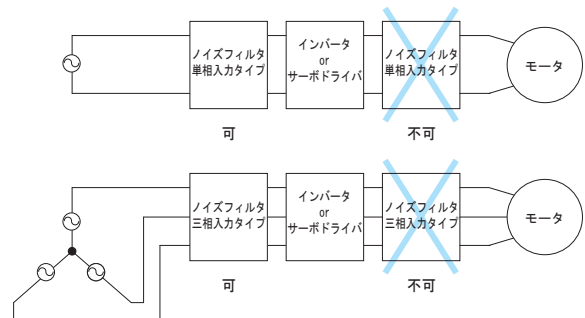
但し、以下の条件については使用できません。

- 1) ピーク電流の持続時間が長い場合
- 2) ピーク電流または高周波の繰り返し電流が継続的に流れる場合

(3) 汎用インバータ（サーボドライバ）との接続

ノイズフィルタは、必ずインバータ（サーボドライバ）の前段にご使用ください。

インバータ（サーボドライバ）とモータ間での使用はできません。



3 安全規格

■規格申請時の必要事項

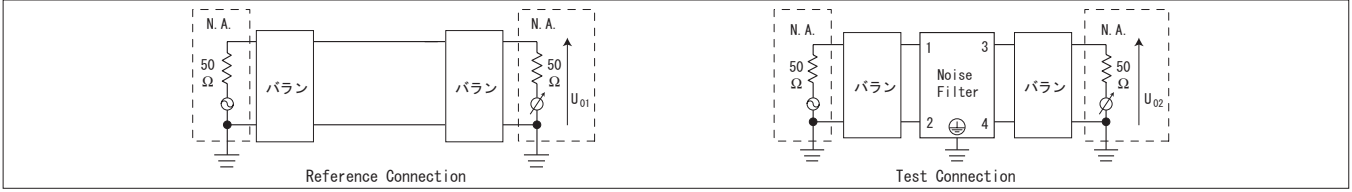
本ノイズフィルタを使用して規格申請する場合、下記項目を満足させてください。

- 機器組込み形としてご使用ください。
- 保護接地端子を筐体の安全アースに接続してください。

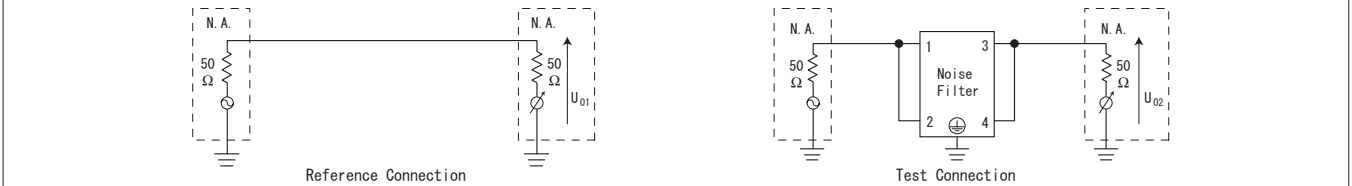
(1) 減衰特性（静特性）測定回路

※ 減衰量 = $20 \log(U_{01}/U_{02})$ [dB]
 U₀₁ : フィルタがない状態での発生電圧 (Reference Connection)
 U₀₂ : フィルタを挿入した状態での発生電圧 (Test Connection)
 ※N.A. : ネットワークアナライザ

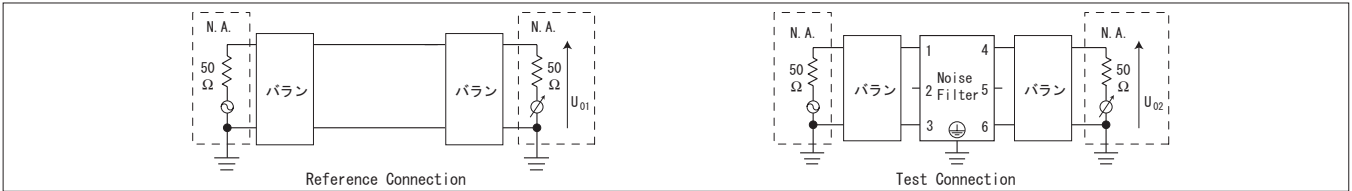
■ 単相入力タイプの場合（ノーマルモード）



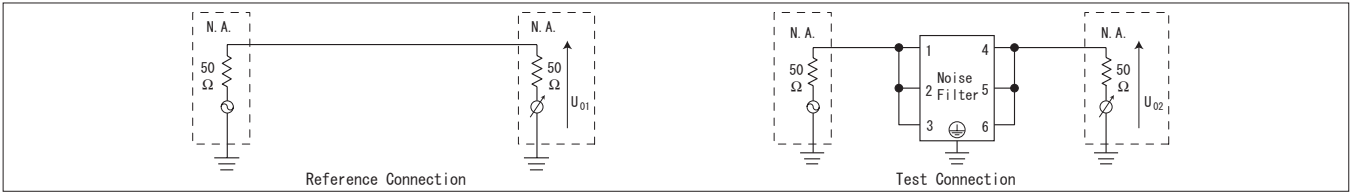
■ 単相入力タイプの場合（コモンモード）



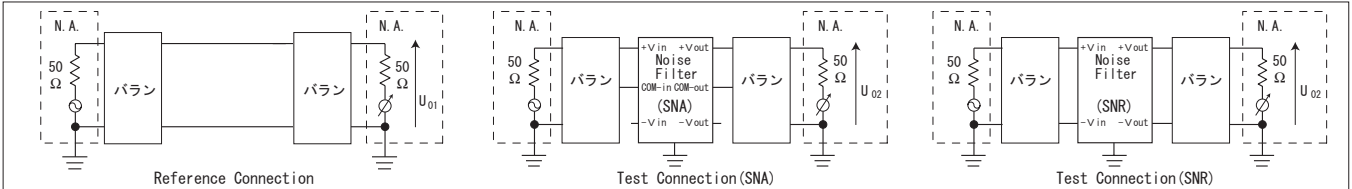
■ 三相入力タイプの場合（ノーマルモード）



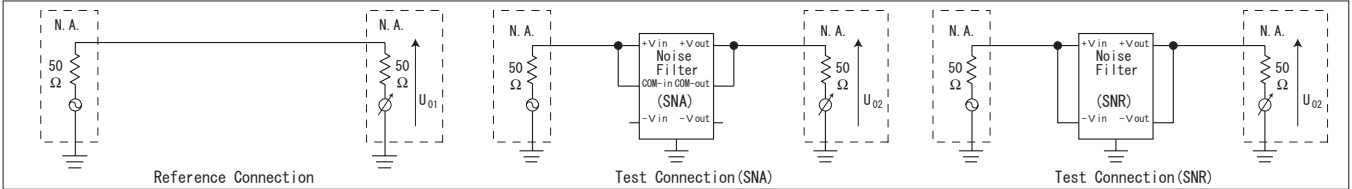
■ 三相入力タイプの場合（コモンモード）



■ DC 入力タイプの場合（ノーマルモード）



■ DC 入力タイプの場合（コモンモード）



(2) パルス減衰特性測定回路

